

- 5) 荒井謙次：サマリウム（II）を触媒に用いるラジカルカップリング。ファルマシア，28：67-67，1992。

## 薬 剤 設 計 学 (1)

教 授      上 野 雅 晴  
助 教 授    吉 川 広 之  
助   手    柏 木   寛  
技官（前） 松 本 千 香

### ◆ 著 書

- 1) 上野雅晴：界面活性剤除去法。「ライフサイエンスにおけるリポソーム」寺田 弘，吉村哲郎編，68-71，シュプリンガー・フェアラーク，東京，1992。

### ◆ 原 著

- 1) Kanamoto I., Zheng N. X., Ueno M., Koizumi T., Adachi I., and Horikoshi I.: Bioavailability of Morphine in Rabbit after Rectal Administration of Suppository Containing Controlled Release Morphine Tablet. Chem. Pharm. Bull. 40: 1883-1886, 1992.  
2) 小野敦央，上野雅晴，堀越 勇：温度感受性リポソームを用いた肝癌化学塞栓療法の基礎的検討－塞栓の確認－。Drug Delivery System 7: 31-36, 1992。  
3) 刈 紅星，足立伊佐雄，堀越 勇，上野雅晴：MFGM（牛乳脂肪球被膜）を用いたDDS研究－ビタミンD<sub>3</sub>のリンパ吸収に及ぼす胆汁酸の影響－。Drug Delivery System 7: 435-439, 1992。  
4) Kashiwagi H.: Adsorption-Order Dependence of the Numbers of spins of Coexisting Two Radical Species on an HY Type Zeolite. Bull. Chem. Soc. Jpn: 903-905, 1992。

### ◆ 学会報告

- 1) 明智洋子，上野雅晴：界面活性剤によるベシクル破壊のプロセス。日本薬学会第112年会，1992，3，福岡。  
2) 小野敦央，上野雅晴，堀越 勇：温度感受性リポソームを用いた肝癌化学塞栓療法の基礎的検討VI リピドールエマルジョンとの比較。日本薬学会112年会，1992，3，福岡。  
3) 柏木寛：脱カチオン型ゼオライトー二有機物系中のラジカル濃度への吸着順序と共存有機物の影響。日本化学会第63春季年会，1992，3，東大阪。

- 4) 刈 紅星，足立伊佐雄，堀越 勇，上野雅晴：MFGM（牛乳脂肪球被膜）を用いたDDS研究－ビタミンD<sub>3</sub>のリンパ吸収に及ぼす胆汁酸の影響－。第8回日本DDS学会，1992，7，札幌。  
5) 山田 明，齊藤智祐，袖木 透，齊藤光和，坂本 隆，唐木芳明，田沢賢次，藤巻雅夫，上野雅晴：抗癌剤封入W/O/W型リピドールエマルジョンの抗腫瘍効果。第51回日本癌学会，1992，9，大阪。  
6) 柏木寛：脱カチオン型ゼオライト～有機物系のラジカル濃度定量の再現性と活性点の出現機構。日本化学会第64秋季年会，1992，10，新潟。  
7) 柏木寛：二種類の脱カチオン型ゼオライト～有機物系中のラジカル濃度の試料作成プロセスへの依存性とメカノケミストリー。日本化学会第64秋季年会，1992，10，新潟。  
8) 上野雅晴，明智洋子，嵯峨崎伸二，柏木 寛：ミセルベシクル転移：界面活性剤によるベシクル破壊のプロセス。第45回コロイドおよび界面化学討論会，1992，10，福岡。  
9) 松本千香，甲斐美佳子，上野雅晴：リン脂質，MDP誘導体混合ベシクルの性質。第45回コロイドおよび界面化学討論会，1992，10，福岡。  
10) 嵯峨崎伸二，中浜慶子，柏木 寛，上野雅晴：ミセルベシクル転移プロセスについて。第87回日本薬学会北陸支部例会，1992，11，富山。  
11) 柏木 寛：脱カチオン型ゼオライト～有機物系のラジカル濃度の定量性についてのメカノケミカルな考察。第8回ゼオライト研究発表会，1992，12，東京。

### ◆ その他

- 1) 上野雅晴：肝癌，肝動脈塞栓療法のためのリポソームを利用した剤形開発。「持田記念財団研究成果報告集8」渡辺敬一編，167-172，毎夕印刷，東京，1992。  
2) Ono A., Ueno M., Zou I., and Horikoshi I.: Basic Study on Hepatic Artery Chemoembolization Using Temperature-Sensitive Liposome, J. Pharmacobio-Dyn., 15, s-71, 1992。